

# 第13回「先輩と語る」講演会

## 「食品企業における創薬研究と29年間の 会社生活で学んだこと」

演者：近藤信雄 博士（23期生）  
味の素イノベーション研究所次長

日時：6月20日（月）18:30-20:00  
場所：北海道大学薬学部臨床薬学講義室

主催：北海道大学薬学部 共催：日本薬学会北海道支部  
後援：北海道大学薬学部同窓会

近藤信雄さんは、1982年に大学院修士課程(衛生化学講座)を修了後、味の素株式会社に入社されました。以来、医薬品の研究開発からマーケティングに至るまで幅広く業務を経験し、2007年からは健康基盤研究所長として健康食品事業にも携わりました。この7月からは古巣の医薬に戻り、味の素製薬(株)創薬研究センター長に就任する予定です。この間、1989年に薬学博士(北海道大学)を取得しています。

一見、再編が進んできたかに見えた製薬業界において、最近、メガファーマの経営戦略の破綻、事業の多角化、バイオ医薬への回帰、創薬研究におけるオープンイノベーション等の大きな変化が起きています。このような変貌を遂げる製薬業界の動向を俯瞰しながら、異業種である食品企業の医薬事業部門の生き残り戦略について、特に、創薬研究に焦点を当てて解説する予定です。また、後半の部では、29年間多くの部門、業務を経験し学んだことを基に、企業において求められる人材像と技術経営(MOT)についても触れてみたいと思います。企業の研究開発に興味を持っている方々のご参加をお待ちしております。当日は質問時間をもうけますので活発に質問していただけることを期待します。会場が狭いので早めにお越し下さい。

連絡先：北大大学院薬学研究院薬化学研究室 松田 彰(011-706-3228)